

公益社団法人松阪青年会議所

2018年度 基本運動方針

まつり委員会

委員長 森谷 晃一

《委員会スローガン》

郷土をおもい、心豊かに育めるまちづくり

《基本運動方針》

「明るい豊かな社会」の創造に向け1954年、松阪青年会議所は混沌とした社会情勢の中、高い志を持った先輩諸兄によって設立されました。39名の先輩方によって創立された、松阪青年会議所は「明るい豊かな社会の創造」に向け「まちのため」「ひとのため」に事業を展開し、63年という歴史を刻んでまいりました。

その数多くの事業の中で我々が、まつり事業を通して展開している事は「まちづくり」であり「ひとづくり」であると考えます。まつりを通してまちの方、まつりに携わる方と触れ合う事で、まちの課題に気づき一人ひとりがまちと向き合い互いに協力して解決していく事が郷土愛に繋がると思います。一人ひとりがまちづくりの主演となって、まちを自慢できることを誇りとして次代に繋げたいと考えます。

そこで、本年度まつり委員会は、新年会では、ご来賓及び諸先輩方と触れ合う数少ない貴重な場において日頃の感謝の気持ちを伝え、より一層懇親を深め新しい体制を先輩諸兄に披露させていただきます。4月例会ではまちの為にまつりの歴史を細部まで会員と共に考え学びたいと思います。公開例会として担当する7月、11月公開例会ではまちの方とふれあい、まちづくりの為になる様な例会を設営させて頂こうと考えています。また、松阪祇園まつり三社みこし世話人会、氏郷まつりお祭り広場運営協議会の両事務局の運営を仰せつかります。事務局運営で関係諸団体やまちの方々と多く関わり、一人ひとりがまちへのおもいを躍動させてまつり委員会として活動してまいります。

また、今年度は松阪青年会議所から多くの同志が卒業します。会員拡大にも力を注ぎたいと思います。出向して頂く会員には委員会の枠にこだわることなく、助け合いの精神を持って取り組んでいく所存です。

まつり委員会一同、心豊かに育めるまちづくりを考え行動し、誠意をもって活動していく所存ですので何卒ご指導、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。